

第5次高砂市総合計画(素案)に対する市民意見公募結果

番号	項目	内容	考え方	修正対応ページ
1	基本理念	【誰一人取り残さない】 誰かの基準があって、ある種の差別や区別を感じる言葉です。保育所保育指針にあるように“一人一人の人格を尊重する”という旨の内容にはいかがでしょうか？	「誰一人取り残さない」という言葉は国連サミットで採択されたSDGs(持続可能な開発目標)のスローガンの日本語訳(公式)です。 基本理念の説明を追加します。	7
2	基本理念	「誰一人取り残さない」をぜひ教育から見直していただきたいです。	高砂市教育振興基本計画において、子どもの権利の保障と平等な教育機会を確保し、インクルーシブ教育等を進めます。今後も、行政、学校、保護者の皆様とともに進めたいと考えています。ありがとうございます。	—
3	基本理念	【誰一人取り残さない】 ・どの世代に特化した町にするのか？ どこかに特化すると必ず生きにくい人が出てくると考えます。例えば、こどもにとっては高低差のある環境が発達には必要ですが高齢者等についてはバリアフリーが好ましいなど。そうなれば道路等の生活に必要なところをバリアフリー含めた整備をして、公園や広場に高低差のある形状になるように整備するなど一人一人の生活を豊かにする方向で考えていただきたいと思います。	地方自治法第1条の2第1項「地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うものとする。」との趣旨により、地方自治体が策定する総合計画は、総合的な幅広い計画です。 ご指摘のとおり、誰かに特化することは高砂市がめざす理念とは考えていません。総合計画は、「誰一人取り残さない」つまり、疎外感を感じる人がいない、その人らしく暮らせる高砂市を目指したいと考えています。ありがとうございます。	—
4	将来都市像	【将来都市像】 ・高砂市は“都市”よりも“まち”という表現の方が市民感覚かと思えます。	表現を修正します。	7・8
5	1-1みんなが子どもを育てるまち【子ども支援政策】	【現状と課題】 ・実質的なひとり親世帯の課題 離婚とは別に、片親が障害である場合や単身赴任等で実質的なひとり親世帯も多くあるのが現代の社会なのでその点に対して社会保障がある方が好ましいと考えます。	ご指摘をいただいた、子育ての困難さへの対応も課題のひとつとして分析しており、課題②の「育児の孤立を防ぎ、保護者の様々なライフスタイルに対応できるよう保育サービスの重要が必要」の表現に含めております。「1121子育て相談と支援の充実」の取組で対応してまいります。ありがとうございます。	—
6	1-1みんなが子どもを育てるまち【子ども支援政策】	【1121子育て相談と支援の充実】 ・子育て支援センター 専門性のある職員の配置を希望します	「1121子育て相談と支援の充実」「4111多様な人材の確保」において、子育て支援センターで充実する職員の確保、育成に努めます。ありがとうございます。	—
7	1-2子どもが学ぶ力を育むまち【教育政策】	【リモート教育】 まず、本腰を入れてすることとしては、2020年教育改革により新学習指導要領をうけ、これを表面上でない充実化を図り、実現していくことです。行政、教育現場、家庭で連携取りながら力を入れていく具体的な施策をまずは一つからでもやってください。これまでの仕組みをシフトくらい抜本的に。今はある意味チャンスです。ICT教育を切り口に親達をもっと巻き込めるチャンスです。一人一台タブレット導入を早期に実現して先生たちと一緒にやりながら充実させていくことは可能だからこそ広報に掲載されていると信じています。一人一台のタブレット。家庭で授業を受けたい子なら各家庭のWi-Fi環境を整えるよう家庭にお願いする。Wi-Fi環境が難しい家庭の場合はWi-Fiルーターを各学校に備える。くらいからは今年度中にはできませんか？	今回のコロナウイルス感染症対策として、今年度中に一人一台タブレットを導入し、家庭においても利用できるよう調整しています。「1224学校施設の改善」で、ICTを活用した教育に取り組みます。「1221問題行動・不登校などへの対応」として、リモート教育が果たす役割があると考えています。ありがとうございます。	—

第5次高砂市総合計画(素案)に対する市民意見公募結果

番号	項目	内容	考え方	修正対応ページ
8	1-2子どもが学ぶ力を育むまち【教育政策】	<p>変化の激しい社会を生き抜く力を身につけるための教育を大人たちがそれぞれの立場で役割をもって新指導要領に沿った教育を教育現場だけに任したままでなく連携して行っているところがあるでしょうか？今、学校によっては「宿題なし、テスト廃止」までするところができています。それは子どもの「自立性、主体性を育み、皆で問題解決のためのコミュニケーションを図る、また新たに創造する力を養うため」という現代社会の問題に向き合い、未来を切り開いていくための練習になっており、自立性が向上したという結果もできている様子です。そういった学校は校長がマネジメントしています。(廻町中学校の事例)</p> <p>大人たちは知っていますよね。横並びの知識詰め込み型の教育の結果、失われた30年があることを。他と比較し優劣をつける意味のなさ、責任を逃れて要領よく生きる術でなく、生きていくために必要な力が何なのかを。それらが新学習指導要領を読むと、本気で取り組む時期だと気が付くのにやらない、事実上変わらないはそれこそ問題ではないでしょうか。</p>	<p>高砂市行政も教育現場を総合教育会議等を通じて市の考え方を伝え、教育を支援し、地域とともにある学校づくりに取り組みます。「1231家庭・地域と学校の連携」の表現を修正します。「1213体験学習、文化、運動教育」で、地域に密着した体験等により、たくましく生きていく力を育てます。大きく時代が変化していることから今後の取組の参考とさせていただきます。ありがとうございます。</p>	27
9	1-2子どもが学ぶ力を育むまち【教育政策】	<p>学校や教育現場が変わるとき、携わる先生方は日頃から情報もあると予測しますが、親たちは違います。やり方が変わると混乱もでてくるし、まず、理解することが圧倒的に足りないと感じています。私事ですが、〇年に長男が小学校入学、〇年長女入学と続きましたが、入学説明会などで教育改革の話など一切ありませんでした。企業であれば方針が変わる際は全従業員に知らせますよね。やらないではなく、どうやるかを話し合いで進めていることと思いますが、親たち巻き込んでシェアしあいませんか。</p>	<p>保護者とともに学習する場づくりは、保護者の皆様からのご理解ご協力なしには取り組めないと考えます。情報共有に対するご意見と考えます。「1231家庭・地域と学校の連携」の表現を修正します。ありがとうございます。</p>	27
10	1-2子どもが学ぶ力を育むまち【教育政策】	<p>また一方で公教育がなかなか変わらないとあきらめている親たちもいます。経済力があると習い事や塾に必死です。日本の場合は親の経済力で教育格差を生んでいます。公教育の立場、役割って何でしょうか。これまでの授業スタイルを変えるには先生方のマインドの違いや反発も多々あると推測しています。</p> <p>今後はもっと地方政治が主体性を持ち、地方で考え、特色を生かし、地方独自のやり方で行政が行われていく傾向になっていくでしょうし、そうあってほしいと願います。今の日本は国でさえ責任回避に必死なように映ります。そうでなく、本気で未来をよりよくしたいなら、人が育つことが大前提にあるのではないのでしょうか。</p>	<p>「1211子どもの学力の向上」「1212外国語教育の充実」「1213体験学習、文化、運動教育」「1214人権及び特別支援教育」などを通じ、子どもたちがそれぞれの個に応じた学習が進められることを目指します。</p> <p>また、総合教育会議などを通じて、教育と行政の信頼関係、連携体制づくりに取り組みます。ありがとうございます。</p>	—
11	1-2子どもが学ぶ力を育むまち【教育政策】	<p>新学習指導要領が行政、教育現場、家庭の三位一体で浸透し充実していること、それを実現していくことは「高砂市といえば補助金バラマキで子育て世代呼び込んで〜という評価でなく、本気で教育やっける都市やで」と胸を張れます。そしてまだ見ぬ未来が明るいほうに進む希望を抱けます。</p>	<p>「4121協働によるまちづくり」においても取り組みます。人口減少対策として、シビックプライドの醸成により、住みたいまち、住み続けたいまちと思ってくださる人を増やしたいと考えています。「1231家庭・地域と学校の連携」の表現を修正します。ありがとうございます。</p>	27

第5次高砂市総合計画(素案)に対する市民意見公募結果

番号	項目	内容	考え方	修正対応ページ
12	1-2子どもが学ぶ力を育むまち【教育政策】	教育委員会の仕組み、仕事を明確にし、その報告をする。 せめて、現在の教育長がだれで、どのような目的意識をもっているのかくらいホームページに記載があってもいいのでは？と思いますし、親達に認識されるくらいになれないのでしょうか。たまに入る教育委員会からのお知らせプリントにも代表者の名前前ならないのはなぜですか。 新学習指導要領の内容を親達も学ぶための説明会の開催(PTAと一体になってすること呼び掛け) これまで一度もないのはなぜですか。 PTA制度の見直し 現状これまでと同じことの繰り返しで、親が主体的に動いているのか？学校側に任せきっているのではない？身近なことです。登校班の見守りについてさえ親たちがどこに言えば対応できるのかと陥っています。	「4121協働によるまちづくり」で取り組む必要があるご提案だと考えます。家庭や地域に対する情報発信、情報共有が不足しているのご意見だと思います。ご指摘の点について、学校教育担当部局にもお伝えし、改善してまいります。「1231家庭・地域と学校の連携」の表現を修正します。ありがとうございます。	27
13	1-2子どもが学ぶ力を育むまち【教育政策】	教職員が教育課程に時間を費やせるように、見直すべき実務が多々あるのではないだろうか？ 教職員の充実した研修制度 先生たちが年度ごとにかわったとしても、各学校の校長がもっとマネジメントをとって先生たちが教職に力を入れるための研修や事業の準備などに費やせているのか。	教職員の働き方改革も進めてまいります。「1222教職員の資質向上」で取り組みます。ありがとうございます。	—
14	1-2子どもが学ぶ力を育むまち【教育政策】	家庭(親)への学習指導要領をうけての説明会とあわせて家庭学習においての相談などができる場所	「1232家庭学習の支援」でも検討し、取り組んでまいります。ありがとうございます。	27
15	2-2公共交通が暮らしの利便性を向上させるまち【公共交通政策】	【2224JR曾根駅周辺整備】 JR曾根駅の南改札口設置の件、長年の案件で全然進展が見られないように見受けられ、そろそろ具体的なスケジュールを提示して欲しいと思います。 もし、改札の設置が難しいようであれば、あっさりあきらめて、駅東側跨線橋の階段も相当老朽化していることだし、いっそエスカレーターに改造して、南北のアクセスを容易にしたいかがでしょうか？ 高齢者を含め、駅に行かない人にも便利になると思います。	「2224JR曾根駅周辺整備」において、曾根駅を利用する皆さんの利便性の向上にむけて、早期に取り組めます。相手があることですので、公表できる段階で皆さんに進捗、検討状況を逐次お知らせしてまいります。ありがとうございます。	—
16	3-2まちを考え、行動する市民活動があるまち【市民活動政策】	高砂市はコミュニティーがあるといいますが、崩壊しかかっていませんか？特に若者世代に。私は少なくともそう感じています。	「3212多様な活躍の支援」で、地域に密着したコミュニティだけではなく、地域を限定しない課題解決、テーマ型のコミュニティやインターネット上で支え合うICT型のコミュニティなど、若い世代を中心にゆるくつながるコミュニティも生まれ始めていると考えており、そのような新しいコミュニティと行政が協働できるよう取り組みます。ありがとうございます。	—
17	総合戦略	【日本一住みたいまち】 日本一じゃないといけない理由はあるのでしょうか？日本一じゃないと価値がないのでしょうか？	多くの人の満足度を高めることを目指しています。日本一住みやすいというのは、他市と比べてというよりも、住んでいる人にとって住みよいと感じていただくことが重要だと考えています。	—

第5次高砂市総合計画(素案)に対する市民意見公募結果

番号	項目	内容	考え方	修正対応ページ
18	基本計画と総合戦略の重点政策	<p>【高砂市として何に力を入れるか】 SDGsの項目を実現する、貢献するために何をど真ん中に各国は持っているとお考えですか？教育だと私は分析しています。世界の教育事情をみると日本は先進国でかなりの遅れがあります。SDGsの他、目的の実現を果たすためには人が育つこと、育てることの重要性を理解しているからこそ教育に力を入れていると知ることができます。日本はどうでしょうか？ SDGsの17の項目は言い換えれば、これまでの問題を解決してこなかったツケと、官僚主義(官主主義)経済最優先主義を見直さない行政と企業の癒着が生んできた問題ですよ。それを世界レベルで見直して取り組んでいかないとそもそも地球がもたないよという危機感を語っているという側面もあると捉えています。ですが子どもたちにツケの解決だけを伝える未来っておもしろいでしょうか。大人たちが今ある課題を真摯に伝えることで子どもたちがどう感じるかですが、私は個の尊重、他の尊重、自立性、創造性を育んでいきたいと思う親の一人でもあります。また、大人の学びなおしも必要です。高砂市として何に力を入れるかを明確にし、アピールすることはとても重要であることは理解しています。多様な社会の中で多様かつ、柔軟な政策をもつことの重要性も今後ますます必要な時代ですが、「高砂市といえば〇〇」と言われるくらいの強みを育てていくことは最も重要であると認識しています。 「〇〇と言えば高砂市」と言えることは何かを考えたとき、現時点では思いつきません。むしろ、どこ？と地理的にびんとこない方がまだ一般的にあります。 「高砂市といえば教育の充実」と言われるくらい取り組むことがSDGsの貢献にもつながるし、人口減少時代に生き抜くために高砂市が投資する価値のある施策だと考えています。(もはや重要であり、緊急のことでありと捉えたと投資というよりは最優先課題な気がします) 今、そしてこれから社会で最重要課題としてあげられるのは、「教育」だと変化の激しい社会の中で大人たちはもう気が付いていますよね？</p>	<p>第5次総合計画(素案)は、総合的な市の政策について示している総合計画基本計画に、人口減少対策に特化した総合戦略を加えて策定しています。どの政策を、市民の皆さんが重要と認識しているか(市民満足度調査、素案では〇印)、どの政策が人口減少対策(社会増、自然増、素案では☆印)に効果があるのか、分析をしています。その結果、重複した政策が、教育政策とまちづくり政策であり、今後、教育政策とまちづくり政策に重点的に取り組まなければならないと考えているところです。ありがとうございます。</p>	—
19	基本計画と総合戦略の重点政策	<p>【重点的に取り組むべき具体的事業】 「公教育が新学習指導要領をずば抜けて実現しているモデル都市になる。」の命題に、高砂に来て家庭をもちたい、子育てをしたいとなる制度、インフラがある。(プライダルの都市の活かし方、魅せ方、見せ方とセットで) ・生物多様な自然環境を活かし、親子で遊べる場所がある。それをぼっくりりとコウノトリキャラをつくりアピールする。 等が派生していると「暮らしいきいき、未来わくわく～」につながるのではないのでしょうか？</p>	<p>今後、教育政策とまちづくり政策に重点的に取り組まなければならないと考えています。人口減少対策である総合戦略として「高砂市は、子どもを安心して預け、育てながら働く、職・住・育の生活を応援します」をテーマにすることに、パブリックコメント等において概ね合意いただけた後は、具体的事業の検討を行います。その際の参考にさせていただきます。ありがとうございます。</p>	—
20	基本計画と総合戦略の重点政策	<p>【重点的に取り組むべき具体的事業】 この3点は「子供に限らず人が育つ、育てる。」という目的で、具体策をスピーディーに行い、検証、見直しながらチャレンジしているとなると魅力を感じます。完璧な計画を作ってからでは遅いです。むしろ、やりながら充実させていくスタイルの方が圧倒的に魅力です。自ずと若者、子育て世代が高砂に来て住みたい街になっていくのではないのでしょうか。</p>	<p>「4-1市民が求める能力を持つ人材が育つまち【職員育成政策】」で、「4121協働のまちづくり」として、職員が対話を基本とする情報交換、意見交換により、計画立案段階から地域の事情を把握し、協働による住みたいまちづくりに取り組みたいと考えています。 第5次総合計画策定の過程において、対話を中心とした意見交換、素案の段階での情報発信(SNS、新聞報道)により、計画の合意形成に努めています。まだ十分とは言えませんが、様々な方のご意見を聞き、柔軟に対応し、改善していく職員を育成できる体制づくりが重要だと考えています。ありがとうございます。</p>	—

第5次高砂市総合計画(素案)に対する市民意見公募結果

番号	項目	内容	考え方	修正対応ページ
21	SDGs	SDGs日本の課題、2020年6月17位→2019年15位。広報を見て少し調べてみました。(8/11現在)高砂ではNo.1,4,10,12,13,15,17,17となっていますね。SDGsは色々とらまっていますので難しさは有ると思いますが、No.6,14,2をNo.17を減らして入れて欲しいと思います。 それに高砂の場合良い水源が有ります。広報7月号8ページに記入されています。私、8/11水道部で色々教えていただき勉強させていただきました。高砂のランドマークも給水塔ですね。No.6の課題はどの国も目標を達成していないそうです。加古川の伏流水、及び地下水を利活用されたいかがでしょうか。	「4-2つかいたくなる公共施設が気持ちよく利用できるまち【公共施設政策】」を推進することで、SDGsのゴール6「安全な水とトイレを世界中に」の実現に貢献します。ありがとうございます。 「4.2.21上下水道施設の老朽化対策の推進」で市民生活のライフライン維持に取り組みます。	—
22	SDGs	No.14日本の回りは海です。とくに高砂は昔から良い漁場及び漁港が有りました。(1972年頃高砂でPCB問題が大きくクローズアップされました。魚の不買運動等(詳細はネットで見て下さい)今、又マイクロプラスチックと結合、東京農工大学の高田教授の問題有り。) 今はどうでしょうか。私は2004年から、市の協力を得て、加古川河口の海洋のごみ拾いを行ってきました。一人一人が出来る小さな事が海を守る事につながると思います。30年位前、漁師の船に乗り撮影しましたが魚よりもゴミが多いことに考えさせられました。2022年、天皇陛下が兵庫県(豊かな海?)神戸に来られるそうですよ。その時までにきれいな海になる様にしていきたいです。	「2-4環境にやさしい暮らしがあるまち【環境政策】」を推進することで、SDGsのゴール14「海の豊かさを守ろう」の実現に貢献します。 「2.4.13プラスチック問題への対策」で海洋プラスチック対策に取り組みます。ありがとうございます。	—
23	SDGs	NO.12とNO.2は関係が有り日本は食ベ残し大国となっています。CO2もですが、フードロス、牛肉食でメタンが多く出ます。メタンはなかなかの悪玉ですよ。高砂も美化センターで食べきり運動及びフードドライブを行っています。広報を見て一応微弱ですが気のついた事及び提言をさせていただきました。	「2-4環境にやさしい暮らしがあるまち【環境政策】」を推進することで、SDGsのゴール2「飢餓をゼロに」、ゴール12「つくる責任つかう責任」の実現に貢献します。 「2.4.11温室効果ガス排出量の削減」でメタンを含む温室効果ガス排出量の削減に取り組みます。ありがとうございます。	—
24	SDGs	(広報たかさご8月号記事)No.17を一つにされては？灯祭り1200～1300年の歴史有る各おらが村の秋祭りを入れて下さい。最後にもう一度、No.6, No.14, No.2を入れて下さい。高砂に良いものがあるのですから。	広報たかさご8月号でSDGsを説明するための記事において、ゴールの内容を説明する具体例を紹介した際、SDGsのゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」のマークを2箇所使用したこと、ゴール6、ゴール14、ゴール2をご紹介しきれなかったことについてのご意見と思われまます。 今回、パブリックコメントをお願いしている第5次総合計画(素案)では、高砂市が政策を推進することで、SDGsの17のゴールの全てに貢献することをお示ししています。今後、SDGsに関するお知らせは、ご指摘の点に留意します。ありがとうございます。	—